

2022年3月期第3四半期セグメント資料

株式会社島精機製作所

2022年1月

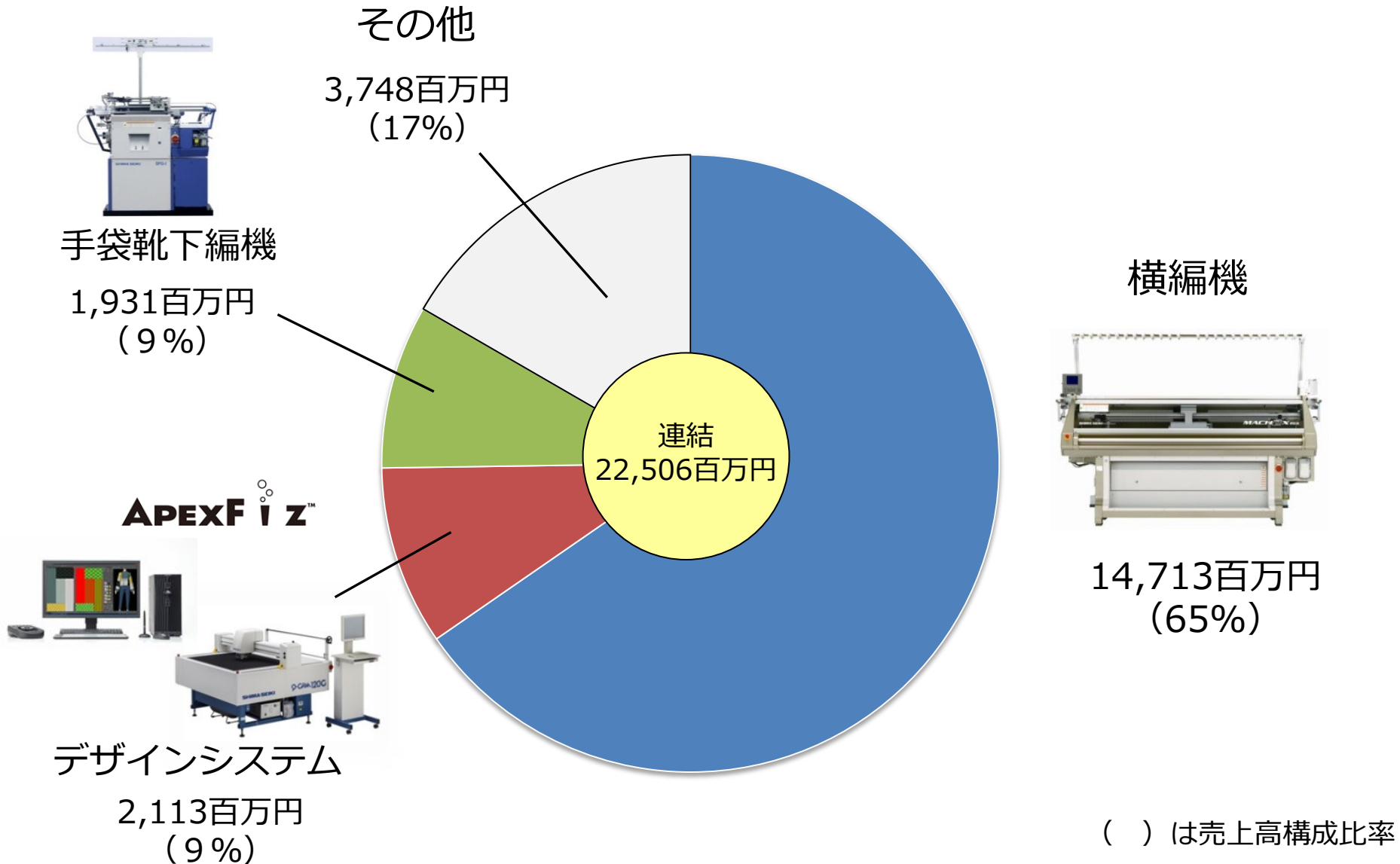
2022年3月期第3四半期決算概要

(百万円)

	2022年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	2021年3月期
売上高	22,506	15,914	24,489
営業利益	△3,183	△6,555	△9,143
経常利益	△2,317	△4,912	△7,273
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△2,636	△5,070	△17,866

為替レート(円)	2022年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	
ドル・円	115.02	103.50	期末為替レート(上段)
	110.77	105.78	平均売上レート(下段)
ユーロ・円	130.51	126.95	
	130.83	122.49	

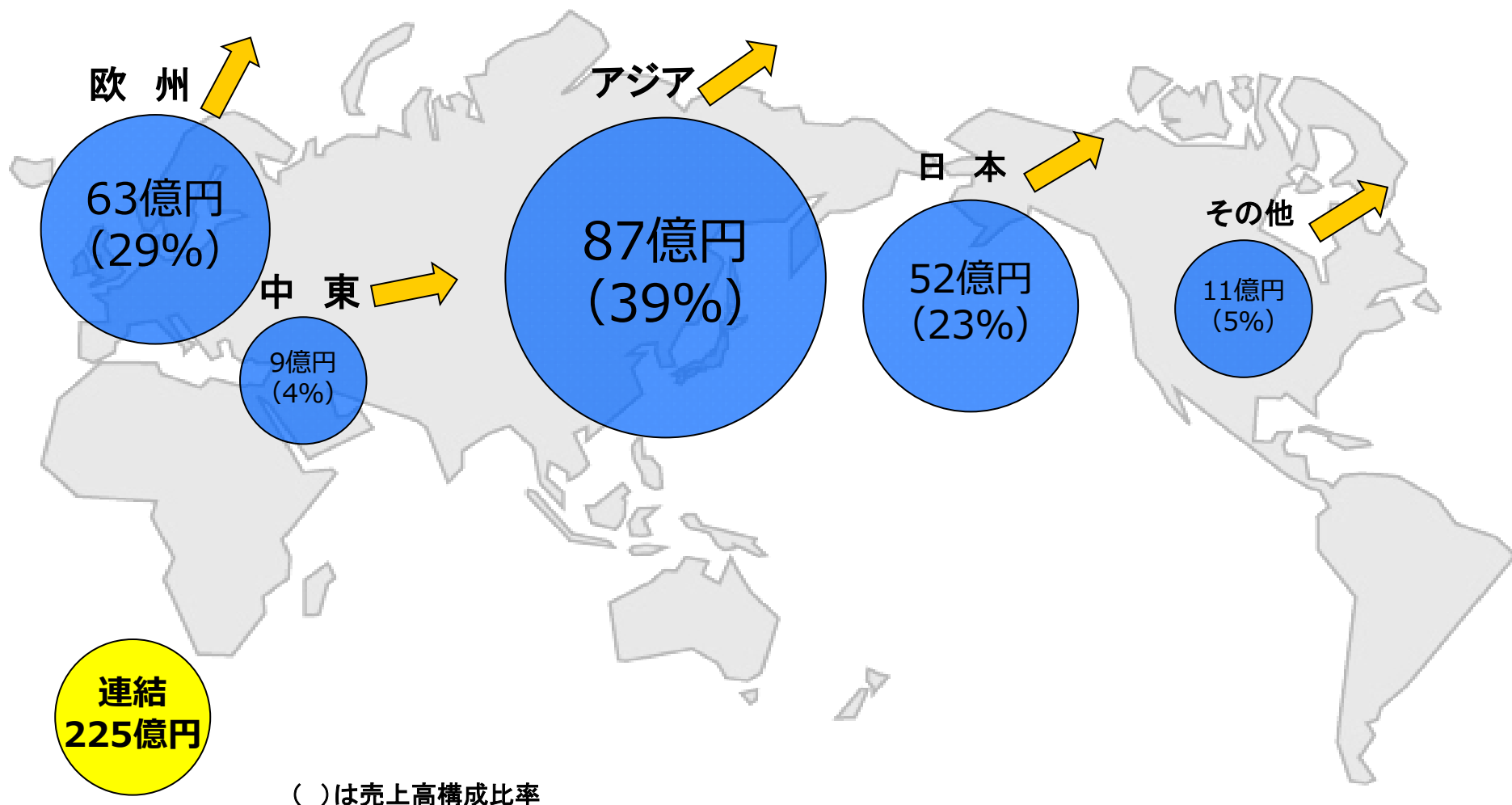
事業セグメント別売上高〔連結〕（第3四半期）



事業セグメント別売上高・営業利益（第3四半期）

(百万円)	売上高		営業利益	
	売上高	前年同期比 (%)	営業利益	前年同期比 (%)
横編機	14,713	+55.0	575	—
デザインシステム	2,113	+21.7	529	—
手袋編機	1,931	+33.1	△6	—
その他	3,748	+15.8	284	+451.6
消去			△4,566	—
合計	22,506	+41.4	△3,183	—

地域別売上高構成〔連結〕（第3四半期）



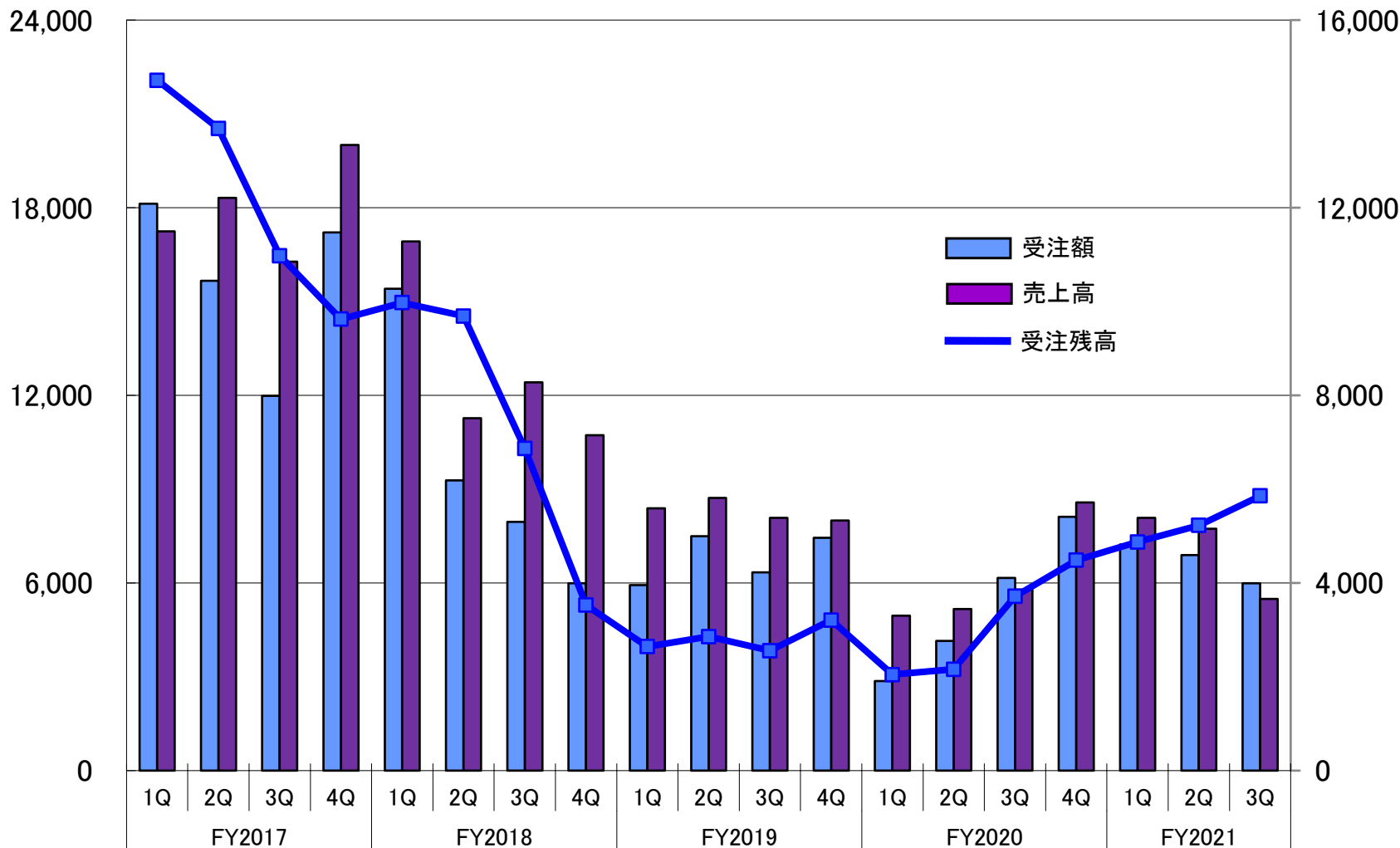
地域別売上高〔連結〕（第3四半期）

(百万円)	2022年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	前年同期比 (%)
日 本	5,214	4,102	+27.1
欧 州	6,390	3,248	+96.7
ア ジ ア	8,792	6,759	+30.1
中 東	967	856	+13.0
その他(海外)	1,142	947	+20.6
合 計	22,506	15,914	+41.4

受注・売上・受注残四半期推移〔連結〕

受注・売上高(百万円)

受注残高(百万円)



四半期別業績推移〔連結〕

(百万円)	2020/3				2021/3				2022/3		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	8,393	8,724	8,089	7,998	4,954	5,171	5,787	8,574	8,081	7,733	6,691
営業利益	△872	△1,838	△1,145	△1,746	△1,970	△2,213	△2,371	△2,588	△644	△913	△1,624
経常利益	△944	△1,954	△963	△1,721	△1,414	△1,721	△1,777	△2,360	△154	△689	△1,473
親会社株主に帰属する当期純利益	△689	△1,372	△852	△5,513	△1,463	△1,745	△1,861	△12,796	△271	△797	△1,567

(百万円)

受注高	5,934	7,495	6,345	7,447	2,868	4,153	6,160	8,120	7,235	6,897	5,994
受注残高	2,647	2,858	2,558	3,211	2,048	2,163	3,716	4,489	4,877	5,229	5,858

2022年3月期業績計画〔連結〕

世界的な半導体その他原材料の供給ひっ迫や国際輸送コストの高騰など事業活動に及ぼす影響が続くものの、中国や欧州市場で経済活動の再開にともなう設備投資が活発となり、売上高、営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失ともに改善する見通しとなりましたので、通期業績予想値を修正いたします。

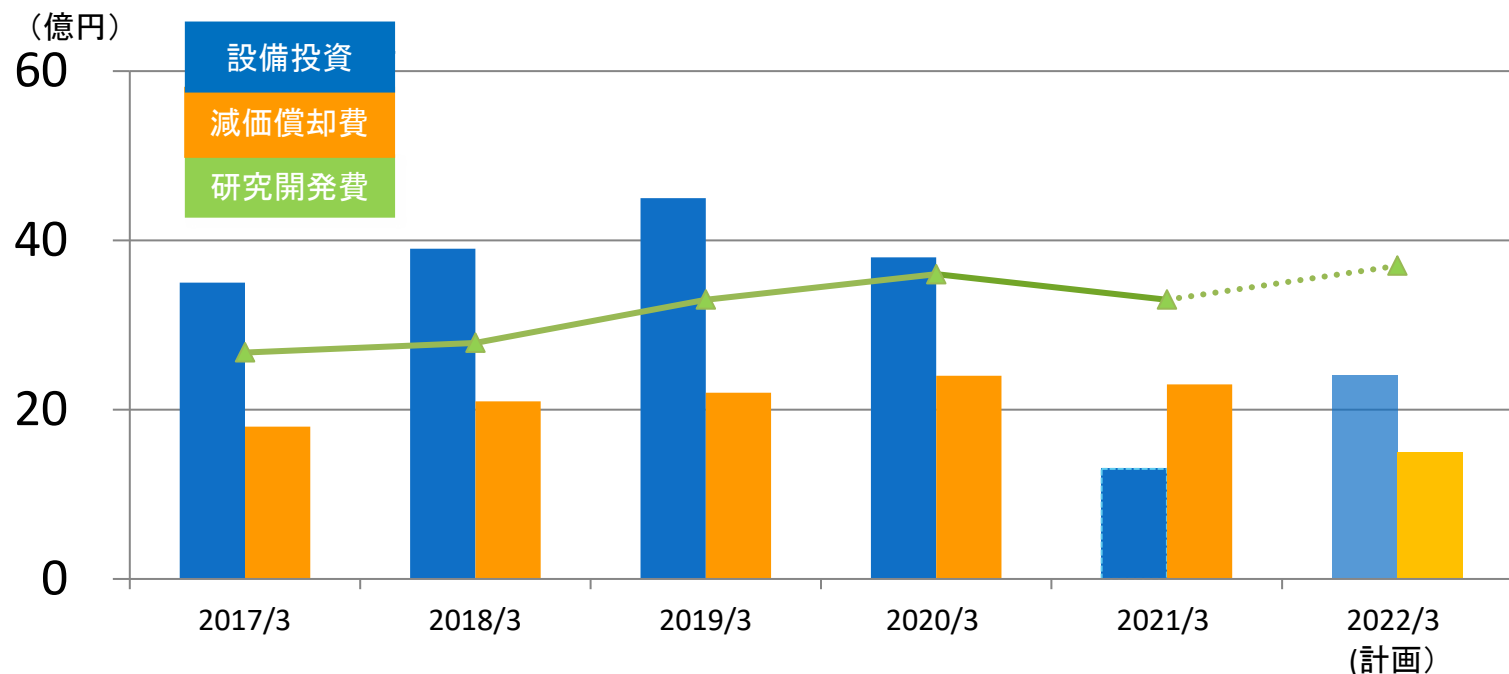
	(百万円)		(百万円)
	2022年3月期	前年比 (%)	2021年3月期
売上高	29,500	20.5	24,489
営業利益	△5,600	—	△9,143
経常利益	△4,600	—	△7,273
親会社株主に 帰属する当期純利益	△5,000	—	△17,866

研究開発費・設備投資等の推移〔連結〕

開発スピードはゆるめずに

22年3月期第3四半期（実績） 設備投資12億円（リース資産2億円含む）
減価償却費10億円、研究開発費24億円

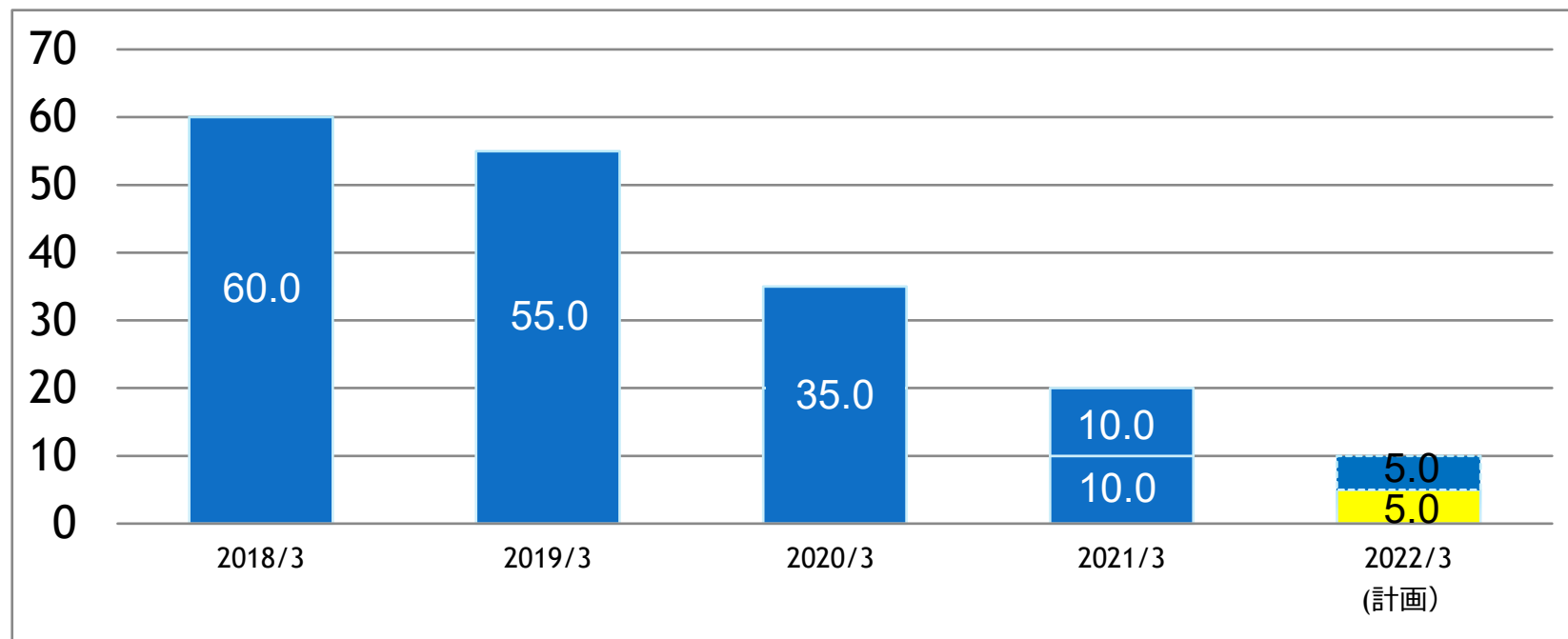
22年3月期（計画） 設備投資24億円（リース資産9億円含む）
減価償却費15億円、研究開発費37億円



株主還元

2022年3月期(計画) 中間配当金5円 期末配当金5円(予定)

(円)



外部環境と当社課題

外部環境の変化

消費者

- 人口増加等によるGDPの拡大
- 消費行動の変化
(コト消費、SDGsへの関心、SNSの普及)

サプライヤー

- スマート工場やDX化の機運の高まり
- 成型機への投資が一巡、無縫製機投資へ
- 横編機の低価格化への要望

リテーラー

- コロナ禍を背景にしたEC化の加速
- SDGs対応への関心の高まり

競合他社

- 価格競争力の向上と製品ラインアップの充実
- 業界再編の動き

機会の 拡大

- 中長期での安定的なアパレル市場
- 環境変化による新たな市場の創出 (DX化やSDGs対応など)

当社課題

- [ホールガーメント] × [ソリューション] への事業構造の移行
- 顧客ニーズに応える製品の開発・供給スピードの向上
- 新たな領域での事業展開 (既存事業周辺領域など)

中期経営計画の重点施策

① ホールゲーム事業の最強化

▶ 成型機中心からWG機中心の事業構造へ

② ソリューションビジネスへの業態変換

▶ ファッション業界全体のサプライチェーン改革へ

③ 独自性を持った事業多角化の推進

▶ 早期の新事業立ち上げによる経営安定化へ

④ 社会の変化に対応した経営基盤の再構築

▶ コロナ後を見据えた経営体制へ

営業活動

ウェビナーによる情報発信の強化



ファッションテック関連（3Dバーチャルサンプリング）シリーズ展開
「サステナブルニット・ホールガーメントとは」
自動裁断機「P-CAM」関連へ拡げている。

ITMA ASIA+CITME2020（上海） 2021年6月に開催

同時期に香港にて個展 Cross Tex展を開催

ホールガーメント横編機の新機種（プロトタイプ）を紹介



サステナビリティ関連

・ 統合報告書発行

当社初の統合報告書2021（日・英）を発行（10月）



・ サステナビリティ推進室を設置

2021年7月1日付、社長直轄組織として発足

SHIMA SEIKI

本資料に記載されている当社の計画および業績の見通し、戦略などは、発表日時点において入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、様々な要因により大きく異なる可能性がありますことを、予めご承知おきください。